

## 尿中馬尿酸：総合感冒薬等〔安息香酸ナトリウム〕の摂取

### 環境・健康

総合感冒薬等に配合されている安息香酸ナトリウムは、体内で代謝され馬尿酸となって尿中に排泄されます。総合感冒薬などには、ねむけ、倦怠感、利尿、頭痛などに効能・効果のあるカフェイン系製剤（日本薬局方 安息香酸ナトリウムカフェイン：下記表）が配合されているものがあります。なお、効能・効果は主にカフェインによるもので、安息香酸ナトリウムはカフェインの溶解補助剤として使用されています。

総合感冒薬などに配合されている安息香酸ナトリウムを摂取した場合、代謝され尿中に馬尿酸として排泄されるため、トルエンのばく露がない作業中でも、その摂取量と尿検体採取のタイミングなどによっては尿中馬尿酸の分布区分が『2』或いは『3』となることがあります。

#### 日本薬局方 安息香酸ナトリウムカフェイン

組 成	カフェイン 48.0～50.0%、安息香酸ナトリウム 50.0～52.0%
効能・効果	ねむけ、倦怠感 血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛（片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛など）
用法・用量	通常成人 1回 0.1～0.6 g を 1日 2～3 回経口投与する なお、年齢、性状により適宜増減する
薬効薬理	主としてカフェインに基づく作用 ねむけを除去、運動中枢・呼吸中枢を興奮、利尿作用、頭痛緩解作用など

### kes サポート

課 題	kes サポート
尿中馬尿酸の検査値に影響する食品の摂取	情報の提供など
作業員のトルエンのばく露状況の調査	尿中トルエン、血中トルエンの検査
	個人ばく露モニタリング（トルエン）